

循環器

Cardiovascular system

ユニット責任者：循環器内科 教授 明石 嘉浩

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	循環器①	4月9日 ～ 4月12日	明石 嘉浩
第2ブロック	循環器②	7月23日 ～ 7月26日	明石 嘉浩

1. ユニット概要・学習内容

本ユニットでは、心臓と脈管の形態と機能について学び、これらがどのように破綻を来し、疾患を引き起こしているのかを推測できるようにする。第1ブロックでは、循環器病学に関する医学・医療の基礎を学び、解剖と生理の再確認を行う。症状と身体所見を十分に理解し、組み合わせる上で重要となる基礎的な検査法を学ぶことが主体となる。

第2ブロックでは、心臓脈管の検査結果について理解し、各疾患について発症メカニズム、症候と病態、診断と治療、予後について学ぶ。

2. 到達目標

- 1) 心臓・脈管の解剖と機能を説明できる。
- 2) 心臓脈管疾患の疫学、病態、症候、検査、治療、予後、予防法を列挙し、説明できる。
- 3) 心臓・脈管を中心とした病歴を注意深く聴取し、正確な身体所見をとって記載することができる。
- 4) 前述の項目より病態の存在を推測できる。
- 5) 各種検査法の原理と意義、危険性を説明できる。
- 6) 内科的治療の有用性と限界を説明できる。

3. 学習上の注意点

本ユニットが扱う内容の全体像・概略は既に発生のおき・生理のおき等において学習済みであるが、本ユニットにおいて更に深く詳細に学ぶ。受講前に以前に学習した内容を十分に振り返っておくことが重要である。

授業は事前に配布される資料をもとに進む。授業資料には当該授業において理解すべき事柄が網羅されているので、事前に予習し、何がテーマとして扱われるか、資料中の不明な点を明らかにした上で授業に臨んでもらいたい。

授業終了後、重要箇所については教科書を用いて理解を深めてもらいたい。教室内外を問わず、積極的な質問を期待する。

4. 教科書・参考書

教科書：とくに指定しない。適宜資料を配付し、参考書の該当箇所を提示する。

参考書：

1) 『内科学第11版』（朝倉書店）

（書評）以前に比べて図表が多くなり、解りやすくなった。国内の著名な先生達による執筆・編集。循環器の最低限の内容は十分に記載されている。

2) 『ハリソン内科学第5版』（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

（書評）朝倉内科学よりも図表が少ないが、情報量はこちらの方が多い。

3) 『Braunwald's Heart Disease, 11th ed. - Textbook of Cardiovascular Medicine』

（書評）これぞ循環器のバイブル。書かれていないことが無い。但し英語。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	90 (%)	前期中間、期末試験中に実施する。
授業態度		10 (%)	TBL終了後に解答用紙を回収し、学習状況を評価する。

当ユニットでは学年末再試験を実施する。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
内科学（循環器 内科）	教授	明石嘉浩	水曜日 10 時～12 時 金曜日 16 時～17 時	医学部本館 3 階・循環器内科医局	johnny
内科学（循環器 内科）	病院教授	原田智雄	水曜日 15 時～17 時半	医学部本館 3 階・循環器内科医局	tomoo-harada-md
内科学（循環器 内科）	准教授	樋熊拓未	火曜日 16 時～17 時 水曜日 16 時～17 時	医学部本館 3 階・循環器内科医局	higuma
内科学（循環器 内科）	講師	田邊康宏	月曜日 13 時～15 時 水曜日 10 時～12 時	医学部本館 3 階・循環器内科医局	y-tanabe
内科学（循環器 内科）	講師	米山喜平	水曜日 16 時～17 時	医学部本館 3 階・循環器内科医局	kihey
内科学（循環器 内科）	講師	石橋祐記	月曜日 11 時半～12 時半 金曜日 11 時～12 時	医学部本館 3 階・循環器内科医局	ishibashi15
内科学（循環器 内科）	講師	出雲昌樹	水曜日 11 時～12 時	医学部本館 3 階・循環器内科医局	m2izumo

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略